



國家總動員機關設置準備委員會設

置ニ関スル件

右謹テ裁可ヲ仰ク

大正十五年四月二十一日

内閣總理大臣若槻禮次郎



西
三
閣

閣甲第八二號

案起

丁未年四月二十日

裁可

丁未年五月

月二十日

施行

年

月

日

内閣總理大臣

大石

内閣書記官長

大石

内閣書記官長

外務大臣

大石

陸軍大臣

大石

文部大臣

大石

逓信大臣

大石

内務大臣

大石

海軍大臣

大石

農林大臣

大石

鐵道大臣

大石

大藏大臣

大石

司法大臣

大石

商工大臣

大石

國家總動員機關設置準備委員會設置に關する件
國家總動員ノ用意緊要ニシテ缺クヘカラサルハ世界大

戰中及大戰後ニ於ケル歐米列強ノ施設ニ徴シテ明瞭ナリ
而シテ國家總動員計畫ノ根基タルニテ諸般ノ調査特ニ
國家各種ノ資源及其ノ需給状態ノ精査ノ如キハ帝國ノ國防
上總動員ノ為之ヲ必要トスルノミナラス帝國ノ現下喫緊ト認
ルル産業ノ助長並社會政策ノ立案上ニモ亦缺クヘカラサル基礎
的要素タリ加之第五十議會ニ於テ貴衆兩院ヨリ國防會議設置
ニ関シテ建議シ以テ國家總動員業務管掌機關ノ設立ヲ要
望スル所アリタリ

然レトモ國家總動員機關ノ體系、任務等ハ帝國資源ノ情況
及總動員業務ノ多岐多端ニシテ其ノ關係スル方面頗ル廣汎
ナルニ鑑ミ之カ決定ニハ周到ナル研究ヲ要スル所歟ナカラサルヲ以テ
先ツ關係各廳等ヨリ別紙ノ如キ組織ニ依リ内閣、國家總動員
機關設置準備委員會ヲ設ケ將來設置スヘキ機關ノ組織、任
務業務遂行ノ方案及該機關ト各廳以下トノ連繫等ニ関シ
慎重ナル攻究ヲ重ネシメ以テ國家總動員機關ノ設置準備上遺
憾ナキヲ期スルニト肝要ナリト認ム

右閣議ニ供ス

國家總動員機關設置準備委員會組織

一 委員長 法制局長官

二 委員 內閣統計局長

內閣拓殖局長

內務省

大藏省

陸軍省

海軍省

農林省

局長一名

商工省

逓信省

鐵道省

三 必要に應じ關係事項に付各廳高等官中ヨリ臨時委員ヲ命スルコトヲ得

四 幹事

幹事ハ内閣法制局及前記各省高等官中ヨリ各一名宛ヲ命ス

五 書記 若干名

内閣に於テ之ヲ命ス

第二款 調査費

二、七六〇円

第十二項 國家總動員機關設置準備委員會諸費

二、七六〇円

目

第一目 廳費

十一年度要求額	十四年度豫算額	増	比較ノ差
八一八六	八一八六		減

第一節 備品費

四六〇

實際ノ所要ヲ見込豫算スル下特ニ事由ヲ掲ケザルモノ皆同シ

第二節 圖書及印刷費

六〇〇〇

第三節 筆紙墨文具

六三三

第四節 消耗品

七六八

第五節 通信運搬費

三二五

第二目 内國旅費

一、〇〇〇

第三目 雜誌及雜費

一、三、五七四

一、三、五七四

第一節 給與

名稱	人員	一人ノ給額	總員ノ給額
委員長手首	一	二二五	四五〇
委員	一〇	二二五	二、二五〇
臨時委員	同	一五〇	七五〇
幹事	同	二二五	二、二五〇
書記	同	一五〇	一、五〇〇
官吏下慰勞金	計		七、四五四
			一、五〇〇

第二節 雇員給

雇員五人ノ給料一人平均年額參百圓

第三節 傭人料

一、〇四八

七、四五四

内譯左ノ如シ

名稱	人員	一人ノ給額	總員ノ給額
給仕	二	一二〇	二四〇
小使	二	二四〇	四八〇
製作職	一	九〇	三二八
計			一、〇四八

第四節 被服費

内譯左ノ如シ

名稱	員數	單價	金額
給仕	二	二五	五〇
小使	二	二〇	四〇
小使(冠蓋着桐油)	一	八七	八七
計			一、七〇

第五節 雜費

内譯左ノ如シ

二四九七円

名稱	員數	單價	金額
翻譯料	一〇〇〇名	一〇〇〇	一〇〇〇〇〇
速記料	一二〇名	五〇〇	六〇〇〇〇
諸謝金	三	一〇〇〇	三〇〇〇
委員其他手当料	三一〇名	二〇〇	六二〇〇〇
小使宿直賄料	三六五名	二〇〇	七三〇〇〇
計			二四九七〇〇

参考

大正十四年一月三十日提出
建議第二五號

國防會議設置ニ關スル建議案
右成規ニ據リ提出候也

大正十四年一月三十日

提出者 蟻川五郎 作

贊成者

内野辰次郎 外二十九名

國防會議設置ニ關スル建議

政府ハ國防ノ完備ヲ期スル為速ニ國防會議ヲ設置
セラレムコトヲ望ム

右建議ス

國防會議設置ニ關スル建議理由書

現今ノ戦争ハ國力ノ戦争ナリ故ニ國防ノ整備ニ就テハ軍部當局ノ外直接間接之ニ關係アル各方面ノ官民ヲシテ豫メ其ノ議ニ參畫セシムヘシ是レ實ニ國民ノ諒解アル國防ヲ作成シ國防ノ基礎ヲ強固ニシ又其ノ實施ニ遺憾ナカラシムル所以ニシテ茲ニ至リ始メテ眞ニ國防ノ完備ヲ期シ得ヘシト信ス是レ本安ホヲ提出スル所以ナリ

大正十四年二月三日
建議第四六號

國防會議設置ニ關スル建議案

右成規ニ據リ提出候也

大正十四年二月三日

提出者 長岡外史

賛成者

松田源治外三十名

國防會議設置ニ關スル建議

政府ハ時勢ノ變遷ニ鑑ミ速ニ國防會議ヲ設置セラレムコトヲ望ム
右建議ス

國防會議設置ニ関スル建議案理由書

帝國將來ノ國防ハ國家ノ總力ヲ以テ之ニ當ラサルハカラ
ス國民總動員ヲ以テスル國民戰ノ準備ノ統制ハ全知全
能ヲ盡シテ精神的物質的能力ノ組織聯繫統一ヲ圖リ
統帥權ノ徹底ヲ期セサルハカラス是レ本案ヲ提出スル所
以ナリ

大正十四年三月十日報告
委 第七七號

委建議ノ四二五

報 告

一 國防會議設置ニ関スル建議案(蟻川五郎作君提出)
一 國防會議設置ニ関スル建議案(長岡外史君提出)
右ハ本院ニ於テ二案ヲ係合シ表題ヲ「防務委員會設置
ニ関スル建議」ニ改メ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候
此段及報告候也

大正十四年三月十日

國防會議設置ニ関スル建議案外一件委員長

三善清之

衆議院議長粕谷義三殿

防務委員會設置ニ関スル建議

國家總動員ニ對スル準備ヲ遺憾ナカラシムル爲之ニ
開スル各種事項ノ調査並其ノ統制ヲ計ルハ目下ノ狀
況ニ徴シ極メテ喫緊ノ施設ナリト認ム政府ハ速ニ之
カ設置ニ関スル處置ヲ採ラレムコトヲ望ム
右建議ス

國防會議設置ニ関スル建議案(蟻川五郎作君提出)
議事經過

衆議院

大正十四年

一月三十日 提出

二月二十三日 委員付託

三月十日 委員會 本案及國防會議設置ニ関
スル建議案(長岡外史君提出)ノ二案ヲ併
合シ表題ヲ「防務委員會設置ニ関スル建議
ニ改メ修正決議セリ」
議員會議 委員長報告通議決確定
政府ニ提出

三月二十三日

三月二十三日

國防會議設置ニ関スル建議案(長岡外史君提出)
議事經過

衆議院

大正十四年

二月三日 提出

二月二十三日 委員付託

三月十日 委員會 修正議決

本案ノ經過ハ國防會議設置ニ関スル建議案(長岡外史君提出)ノ部ニ揚ク

國防ノ基礎確立ニ関スル建議

國防ノ基礎ハ國家總動員ニ在リ然ルニ未タ之
ク準備ニ遺憾ナシトセス政府ハ宜シク之ヲ調
査統制ヲ圖リ速ニ國防ノ基礎ヲ確立セラレ
ンコトヲ望ム

右貴族院規則第六十九條ニ依リ提出候也

大正十四年三月二十四日

發議者 候爵德川義親外 十名
賛成者 公爵松方 巖外百二十八名

國防ノ基礎確立ニ関スル建議案議事經過

貴族院

大正十四年三月二十七日議員會議議決

参照

秘

國家總動員機關設置ノ為準備委員會
設置ニ関スル閣議案(陸軍省原案)

國家ニ總動員ノ用意緊要ニシテ缺クヘカラサルハ世界
大戰中及大戰後ニ於ケル歐米列強ノ施設ニ徴シ明
瞭ナリ而シテ國家總動員計畫ノ根基タルヘキ諸般
ノ調査特ニ國家百般ノ資源及其ノ需給情態ノ
精査ノ如キハ帝國ニ國防上總動員ノ為之ヲ必要ト
スルノミナラス帝國ノ現下吃緊ト認ムル產業ノ助長
並社會政策ノ立案上ニモ亦缺クヘカラサル基礎
的要素タリ

第五十議會ニ於テ貴衆兩院議員中歐米諸強
國何レモ國家總動員ノ施設ニ関シ殆ント間然スル
所ナキニ拘ラス帝國ノ獨リ之ニ缺如セルハ我國防上着
過シ難キ所ナリト論スル者尠カラス之カ緊急ヲ高唱
シ國家總動員業務管掌機關ノ設立ニ関シ建議
スル所ナリタリ是レ方ニ該機關設置ノ機運熟セルモ
ノナリト謂フヘシ

然レトモ國家總動員機關ノ體系、任務等ハ帝國資
源ノ情況及總動員業務ノ多岐多端ニシテ其ノ關係
スル方面頗ル廣汎ナルニ鑑ミ之カ決定ニハ周到ナル
研究ヲ要スル所尠ナカラサルヲ以テ權宜ノ措置トシテ

先ツ關係各省等ヨリ附表ノ如キ編制ニ依リ國家總動
員機關設置準備委員會ヲ設ケ將來設置スヘキ
機關ノ組織、任務、業務遂行ノ方案及該機關ト
各省以下トノ連絡等ニ関シ慎重ナル政究ヲ重ネシ
メ以テ國家總動員機關ノ設置準備上遺憾ナキ
ヲ期スルコト肝要ナリト認ム

附表

國家總動員機關設置準備委員會編制

一 委員長

法制局長官

(各省庁長官、各府市長官、各支庁長官、各市長官、各町長官、各村長官、各警察長官、各消防長官、各衛生長官、各教育長官、各文化長官、各スポーツ長官、各観光長官、各産業長官、各労働長官、各福祉長官、各環境長官、各交通長官、各建設長官、各農林長官、各水産長官、各衛生長官、各教育長官、各文化長官、各スポーツ長官、各観光長官、各産業長官、各労働長官、各福祉長官、各環境長官、各交通長官、各建設長官、各農林長官、各水産長官)

二 委員

内閣統計局長

内閣拓殖局長

内務省

大藏省

陸軍省

海軍省

商工省

農林省

局長一名、隨員一名

逓信省
鐵道省

三、幹事

長 内閣書記官

幹事 前記各省隨員中ヨリ若干名ヲ任命ス

四、必要ニ應シ關係事項ニ付各省等ヨリ臨時委員
ヲ任命スルコトアリ

陸軍省

大正十四年十月十日

國家總動員準備委員

經費ノ件

大正十四年度ハ概算ノ措置トシテ尤ノ如ク

ス

(一) 會場 法制局

(二) 會議當日ノ準備ニ要スル傭人

法制局又ハ内閣ノ給仕ヲ使
用ス

(三) 會議席上ニ出スル湯飲茶

法制局又ハ内閣ニ於テ準備
ス

(三)書記 陸軍ヨリ差出ス
内筆紙墨等委員陸軍ノモノヲ使用ス

大正十五年度

内閣ヲ於テ予算ニ計上スルコト

一四九一二

總動員機關準備委員會編制ニ関スル件申合、要領

一 準備委員會ハ原案通り内閣ニ置クヲ可トス

二 經費ハ差當リ特ニ多額ヲ要セサル見込ナルヲ以テ既定豫算

ヲ繰合スコト、シ之ヲ内閣ニ置ク上ハ一部局ノ豫算ヨリ支出

スルハ不穩當ナルヲ以テ事實上各委員ヨリ筆紙等ハ持寄

ルコト 但シ印刷費等多額ノ必要ヲ生シタル場合ハ追加豫

算ヲ以テ要スルコト手當ハ必要ナレト認め(共ノ莫ハ尚内閣

側ノ意向ヲ質スコト、レ萬一必要ナリト決シタル場合ト雖又

追加豫算ノ詮議トスルコト)

三 地方官憲ノ共力ヲ要スヘキヲ以テ内務省ヨリ又委員ヲ出

ス方可ナリ

四 總動員機關ノ名稱ハ稍々強ク用ユル虞アル之ニ代ルヘキ

適當ナル名稱ナレト認ム但シ尚攻究スヘキコト

供覽

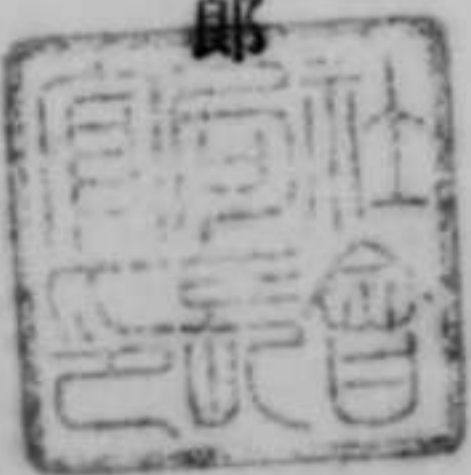
内閣書記官長



發一第一五號

大正十五年二月十六日

社會局長官 長 岡 隆 一 郎



内閣書記官長

塚

本

清

治

殿

國家總動員準備機關ニ關スル件

政府ニ於テハ國家總動員機關設置ノ爲近ク其ノ準備機關ヲ設クヘキ
ヤニ承知致候國家總動員ノコトタル各方面ニ關係ヲ有スルコト、存
候處特ニ勞力動員ノ問題ハ極メテ重要ナル地位ニ在リテ物資其他ノ
物的問題ト相並テ慎重講究ノ要アルモノト破存候社會局ハ申ス迄モ

ナク労働問題殊ニ勞力ノ需給乃至移動關係又ハ労働團體ノ情勢労働
運動ノ狀況等ニ關シ常ニ調査講究ノ~~務~~ニ當リツ、アリテ國家總動員
ノ事務ニ付テハ重大ナル關係ヲ有スル様被存候條本件ニ關シ相當機
關設置ノ場合ハ當局ノ參劃ヲモ加フル等相當考慮セラレ候様被致度
爲念此段及御照會置候也

又一生子

計目

調査費

国家總動員準備費
前年調査費

廳費

内閣府費

雑費
凡種費

總

額

前備尾込
昭和二十一年
三月
三月
三月

年度研究費
一、〇〇〇、〇〇〇

三、〇〇〇	九、〇〇〇	六、〇〇〇	一、〇〇〇
八、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

内閣

國家總動員準備金百円ノ諸費内訳

對全刑 單價 總額 準備金 額内 追及費 三月迄 善行 額内 額 額 額 備 券

調正金費

國家總動員準備金百円ノ諸費

廳 費

備品費

圖書印刷費

筆墨費

消耗品

通信運搬費

印刷費

雜費

結 共

百円

百円

百円

百円

九〇〇〇

二〇〇〇

一七〇〇

一五〇〇

四〇〇〇

一〇〇〇

六〇〇

三〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

一〇〇〇

閣甲第一七〇號

起案 十月十九日

裁可 年 月 日 施行 年 月 日

內閣總理大臣 齋藤

內閣書記官長 齋藤

內閣書記官 齋藤

外務大臣 古

陸軍大臣

文部大臣 古

遞信大臣 齋藤

內務大臣 齋藤

海軍大臣

農林大臣 齋藤

鐵道大臣

大藏大臣 齋藤

司法大臣 齋藤

商工大臣

國家總動員機關設置準備委員會設置、關於
几件

國家之總動員ノ用意緊要ニシテ缺クヘカラサルハ世界大戦中及大戦後ニ於ケル歐米列強ノ施設ニ徴シテ明瞭ナリ而シテ國家總動員計畫ノ根基タルヘキ諸般ノ調査特ニ國家各種ノ資源及其ノ需給状態ノ精査ノ如キハ當ニ國防上總動員ノ為之ヲ必要トスルノミナラス帝國ノ現下喫緊ト認ムル産業ノ助長並社會政策ノ立案上ニモ亦缺クヘカラサル基礎的要素タリ加之第五十議會ニ於テ貴衆兩院ヨリ國防會議設置ニ関シテ建議レ以テ國家總動員業務管掌機關ノ設立ヲ要望スル所アリタリ

然レトモ國家總動員機關ノ體系任務等ハ帝國資源ノ情況及總動員業務ノ多岐多端ニシテ其ノ關係スル方面頗ル廣汎ナルニ鑑ミ之カ決定ニ周到ナル研究ヲ要スル所歟アカラサルヲ以テ先ツ關係各廳等ヨリ別紙ノ如キ組織ニ依リ内閣ニ國家總動員機關設置準備委員會ヲ設ケ將來設置スル機關ノ組織任務業務遂行ノ方案及該機關ト各廳以下トノ連繫等ニ関レ慎重ナル政究ヲ重ネレメ以テ國家總動員機關ノ設置準備上

遺憾ナキヲ期スルコト肝要ナリト認ム
右閣議ニ供ス

一法制局第ニ七号

八月拾四日



閣甲 第一三五號

案 查 八月七日

議可 行 十五年八月十三日

年月日

内閣總理大臣

Handwritten signature

内閣書記官長

Handwritten signature

内閣書記官長



外務大臣

Handwritten signature

陸軍大臣

Handwritten signature

文部大臣

Handwritten signature

逓信大臣

Handwritten signature

内務大臣

Handwritten signature

海軍大臣

Handwritten signature

農林大臣

Handwritten signature

鐵道大臣

Handwritten signature

大藏大臣

司法大臣

Handwritten signature

商工大臣

國家總動員準備機關ノ組織權限及處務方法等
ニ関シ別紙ノ通國家總動員機關設置準備委員會